

乳質改善は儲かる その四 牛体衛生からはじめる

乳房炎予防

乳房炎は乳頭口から原因菌が侵入することで起こります。

乳房炎菌が好む環境は湿潤で栄養（有機物）が豊富な場所です。牛体、特に乳頭口周辺を衛生的で乾燥した環境（クリーン&ドライ）に保つ事が乳房炎予防の第一歩となります。

牛床管理

クリーン&ドライな牛床のためには、こまめな除糞と敷料管理が欠かせません。

ポイント

- 牛床全体に敷料を入れ、特に乳房付近は重点的に投入する。
- 石灰資材や衛生資材などを牛床に散布。乾燥、消毒効果が期待できる。



石灰資材を牛床に散布

また、効率的で効果的な牛床管理が行えるよう、一日の作業スケジュールに上手に組み込む工夫をしましょう。

こんな事例がありました！

- 起立や採食後に排泄する習性を利用し、給餌やエサ寄せ後のタイミングで除糞している。
- 搾乳直後は乳頭口から細菌が侵入しやすいため、搾乳中に敷料交換し、搾乳後、衛生的な牛床に牛が横臥できるように管理している。



効果的な牛床管理で体細胞数は年間平均10万個/ml未満

カウトレーナー

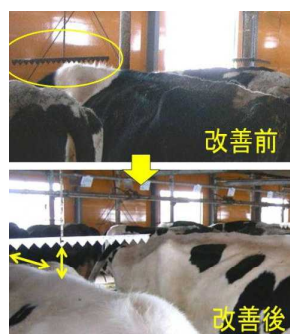
つなぎ牛舎ではカウトレーナーの設置が牛体衛生に有効です。カウトレーナーを利用して、牛体汚れる場合、設置状況（高さや前後）を確認して

みましょう。設置位置が悪いと乳牛にストレスを与え、乳房炎発症リスクを高める結果になりかねません。

※カウトレーナーの設置位置は、当普及センターホームページの技術情報のページ（牛体をきれいに保とう）で紹介しています。

こんな事例がありました！

カウトレーナーを低く設置。牛体はきれいにならず、牛は足をあげるなど神経質だった。牛体よりこぶし一つ分の高さに改善。調整後、牛体の汚れはなくなり、牛も穏やかに。



高さと同時に前後の位置も改善

泥濘化の防止

糞尿など水分を含んだ土が蹄で練られ、ぬかるみとなります。パドックや牛舎の出入口、牛道、給水施設付近が泥濘化しやすい

のはそのためです。

泥濘化しやすい場所は、ぬかるみがひどくなる前にバケツなどで表層を除去しましょう。作業は直線で行えるようにするなど、掃除しやすい環境を整えておく事も大切です。

また、排水性や地盤の改善で泥濘化しにくい環境を作ることができます。

こんな事例がありました！

パドックにマウンドを設置。二〜三年毎に黒ボクを投入し、メンテナンスしている。



マウンド（山成り施工）は排水性を黒ボクは地盤を改善できます。

毎日の地道な管理の積み重ねが乳房炎予防につながります。クリーン&ドライな農場で乳房炎ゼロを目指しましょう。

（平成二六年八月作成）